

令和4年度第2回天理市空家等対策協議会 議事要旨	
日時	令和4年11月11日(金) 10:00~11:40
場所	天理市役所4階特別会議室
出席者 (敬称略)	並河 健 (天理市長) 東井 修司 (天理市区長連合会) 東田 匡弘 (天理市議会) 藤井 茂久 (奈良弁護士会) 山本 郁夫 (天理市商工会) 堀 貴至 (奈良県土地家屋調査士会) 庄田 尚代 (奈良県建築士会)
議題事項	(1) 空家等の利活用に向けた取組みについて ・「空き家の活用事例集」 ・天理市空き家ワンストップ相談窓口の開設 (2) 第2期天理市空家等対策計画について
資料	1-1 空き家の活用事例集(案) 1-2 天理市空き家ワンストップ相談窓口 2-1 第2期天理市空家等対策計画(案) 2-2 第2期天理市空家等対策計画 概要版(案)
議事要旨	<p>(1) 空家等の利活用に向けた取組みについて</p> <p>・「空き家の活用事例集」※資料1-1参照</p> <p>【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態調査を経て、地域の事情をよく知る地元の方々の協力が必要だと分かりました。空き家対策について声掛け頂く際に配布できるものとして、この「空き家の活用事例集」を作成しました。 ・前回の協議会で、天理市の関与を分り易くという意見がありましたので、担当課も明確に記載してあります。 ・内容についてご意見頂きたい。加えて、区長連合会と相談しながら、どういう形でのご協力を依頼していくべきか、ご意見を頂きたいと思います。 <p>【委員からの主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区長連合会は協力してくれるが、事前に相談してもらいたい。 ・資料1-1のP.2にコンシェルジュが載っているが、先に天理市総合政策課が来た方がいいと思う。市とコンシェルジュの関係がもう少し分かりやすくなれば。 ・もう少しコンパクトにして、広報紙に折り込むのもいい。

- ・ホームページ、メール、SNS など、ネット環境の案内が必要ではないか。空き家を探す人は若い方も多い。
- ・ホームページのトップに目につく集約されたページがあれば見る機会が増える。
- ・成功例として、所有者の声を載せてみてはどうか。

・天理市空き家ワンストップ相談窓口の開設※資料1－2参照

【事務局説明】

- ・前回の協議会で提案があったプラットフォームですが、天理市では、「天理市空き家ワンストップ相談窓口」として開設していきたいと考えています。
- ・各団体と協定を結び、行っていただく業務を取り決めていこうと考えています。
- ・まだまだ検討段階ではありますが、本市ではこのような形が良いと考えています。効果が本当にあるのか等ご意見を頂けたらと思います。

【委員からの主な意見】

- ・市の中に窓口を置いて、何名かの職員で対応するのか？
⇒(事務局)市の中ではなく、空き家コンシェルジュでその役割を担ってもらおう予定です。
- ・円滑にしようと思うなら、誰が何をやるのか役割と責任をはっきりさせるべきだ。
- ・協定を市とするのかコンシェルジュとするのか。個人との取り次ぎになるので、ややこしくなると思う。
- ・コンシェルジュに振ると市がすぐに引っ込んでしまう。市である程度筋道をたててやらないと。市が付いているという安心感があるといい。
- ・事務局というのは、協議会の窓口なのか、市の組織の一部なのか。責任主体がどこなのかをはっきりすべき。専門的な部署を設けるとか、責任を持ってフォローしてくれる担当課を設けるとか。
- ・協定にあたっては、各会の誰が担当するかが問題になってくる。各会にそういう受け皿(委員会・組織等)があるかどうか前提になる。協定したら、どのように担当してもらうかを決めていかないと。それぞれとの会と調整が必要になってくる。

(2) 第2期天理市空家等対策計画について

※資料2-1、2-2参照

【事務局説明】

- ・令和5年4月から始まる計画の案となっており、現行の計画のバージョンアップとなります。
- ・今後、パブリックコメントと議会への報告を経て決定していくこととなります。

【委員からの主な意見】

- ・人口がこれだけ減りますという話ばかりで、何年後には何人にしたということを載せてもらいたい。
- ・年次計画的なものがない。どのように進んでいくのかが分かるような分からないような。やってみないと分からないことが多い。
- ・市民の方に空き家対策がどれくらい周知されているかという、まだ2、3割くらいのイメージ。もう少し広報のやり方を検討してもらいたい。高齢単身者への情報の伝え方やイベントを開催など。